

大森池耐震工事の進捗状況についての説明

*** 経緯** 大森池の耐震工事は、従来の濁池や長池耐震工事と同様に、水を抜き堆積土を改良して耐震補強する計画であった。

：大森池をきれいにする会では、県の耐震工事に併せてヒシやヘドロの除去や池の北を埋め立てできないかと考えていた。当初工事期間は平成 29 年度単年で終わる予定であったが、平成 29・30 年度の 2 ヶ年に変更になった。又平成 27 年度に土質調査を行ったところ、想定より土質がしっかりしていたため工事規模を縮小できると判断し、桜を撤去せずに工事が可能ということになった。

*** 現状** 尾張農林水産事務所より耐震工事の設計委託を今年度発注している。平成 29 年度南側の市道に面した歩道の北側の部分を工事を行う。(ユキヤナギは撤去) 予定は 10 月～12 月、の 3 か月間を 予定。その際市道を二分の一使用をするので、通学路等関係する事項については市のほうで対処をする。

：県は、平成 30 年度池の南側部分を工事、長池と同じ工法にて堤体前面押さえ盛土工法、にて強化（耐震）をする。その際に堤から 10 メートルまでヘドロの撤去を行い、さらにそれから中の部分は水草を除去する（ヒシは全面的に除去されるがその根っこ迄のことにな

らないため薬剤をまく) 従って、池の水を全部抜くので、長池と同様池の底は天日干しされるのである程度退治されます。その際池全体から若干の臭いが発生するかもしれないのでそれを抑えるための薬剤(中せい固化剤、石膏)をまく意味・堆積土を硬化する。もあります。そこは地元の人たちに理解を戴きたい、会員の皆さんからのお力もお願い致します。

又魚については一長池の下にある水タンクを設けて移す。この件は市と業者で対応する。そしてヨシについては公民館の南側の一部分を残して後は全部撤去をする。又西側の木のついてはすべて伐採する。工事の関係車両等は北側の運動場より出入りを行う。この件についても現在利用されている各種団体との対応は、市のほうで対応する。進入路になる場所は土を入れる工事用道路、工事期間中5か月程度、尚工事用機材搬入は一か月半~2か月、大体何月頃から~?今はっきりとは言えない。勿論今年度、来年度の工事に入る事前に地元住民との説明会が行われます。更に必要時には、県・市・当会との三者会議は行われる。